

I 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・外遊びを推奨することで、ボール運動、走る、鉄棒、雲梯、一輪車など様々な運動に触れることができた。
- ・体育的行事で表現種目を行うことで、児童が友達と力を合わせて運動する楽しさを実感することができた。
- ・ランフェス（走ることに特化した体育行事）で、児童自身が短距離か持久走を選択し、目標を立てたことで自分のめあてに向かって意欲的に練習に取り組み目標を達成する姿が見られた。

(2) 課題

- ・6～9月は暑さのため校庭での活動ができず、児童の運動できる機会が減った。
→休み時間は体育館遊びを取り入れ、運動の機会を確保することで、児童に体を動かす楽しさを実感させていく。
- ・令和2年度から全学年、体力テストのソフトボール投げの結果が東京都の平均を下回っている。
→授業の中で正しい投げ方指導ポイントを示し、児童自身の理解を促し、実践していけるようにする。外部講師による投げ方指導を実施し、専門的に投げ方について学ぶ機会を設定する。
- ・一校一取り組みに対する児童の取り組み意欲をさらに高め、技能向上させたい。
→使用するカードを新しく作成したり、授業の帯活動としても一校一取り組みの種目（短縄・持久走・大縄）を取り入れたりすることで、児童の基礎体力や技能の向上を図る。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・運動遊びのやり方や基本的動きを理解し身に付けるために、様々な運動遊びやゲームを取り入れる。 ・様々な運動を行うため、1学期に短縄、2学期に3分間走、3学期に長縄を行う。	・自分の課題に気づき、感じたことを表現できるように、学習カードを使い、ポイントやコツを示したうえで意識をもたせて取り組めるようにする。	・運動の楽しさを味わいながら運動への興味・意欲を育てるために、簡単なルールや場を自分たちで工夫する活動を取り入れる。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・基本的な動きに加え、遊びやゲームに必要な技能を身に付けるために、各単元の学習過程の中に、主運動につながる予備的な運動を授業の中に取り入れる。 ・様々な運動を行うため、1学期に短縄、2学期に3分間走、3学期に長縄を行う。	・自分の能力に応じた課題を選んだり、友達の良いところを取り入れたりできるように、動きのポイントや視点を示した学習カードやタブレットを活用する。	・安全に配慮しながら活動に意欲的に取り組む姿勢を育てるために、表現運動や簡単なゲームなど友達と協力できる活動を取り入れる。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・各運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けるために、休み時間にできる体力を高める運動や主運動につながる予備的な運動を授業の中に取り入れる。 ・様々な運動を行うため、1学期に短縄、2学期に3分間走、3学期に長縄を行う。	・自分や友達の課題を見付け、自主的に改善策を考えることができるように、学習カードやタブレットを活用して自分に合った運動に取り組めるようにする。	・運動に積極的に取り組み、友達の考えや取り組みを認め合う姿勢を育てるために、児童同士で話し合う時間を確保し、自分の課題に気付き、工夫していく過程を大切にする。